

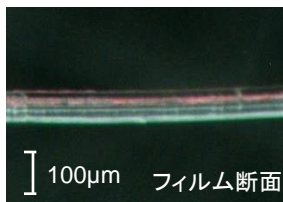
## 多層膜フィルムの広域マッピング測定

φ8ClearDiskとKBrプレートを用いて試料を包埋すれば広い平滑な測定面を有した試料を作成できます。そのため測定試料の成分分布を広域にわたって良好に測定することが可能です。

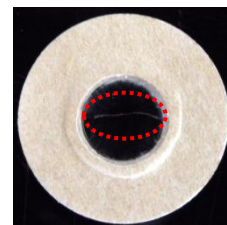
また、Slice Master を用いると赤外吸収の飽和しない薄い切片を作成することができます。



Slice Master HW-1で  
多層膜フィルムをカット

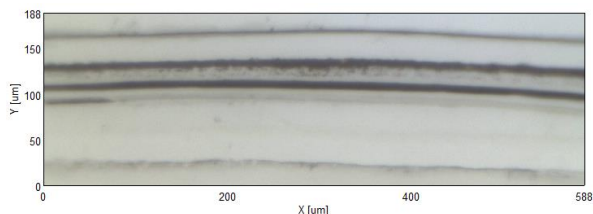


試料切片の様子  
(実体顕微鏡の観察画像)

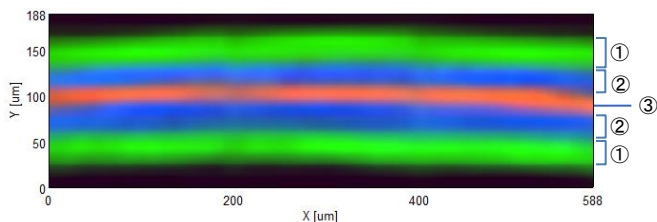


φ8ClearDiskにて  
KBrプレート化

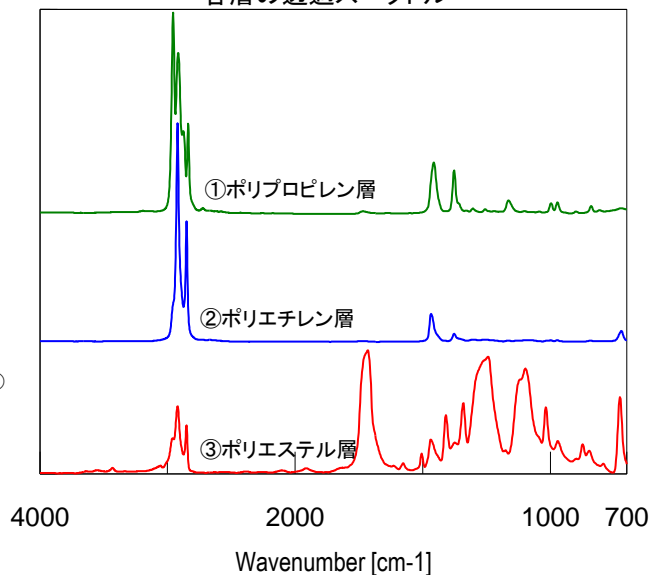
観察画像



色分け画像



各層の透過スペクトル



### Condition

顕微透過法, 12.5 × 12.5 μm, 48 × 16点, 分解 8cm<sup>-1</sup>, IRT-7000 シリーズ リニアアレイ検出器

### Master's Memo

- φ8ClearDiskでは広い平滑な測定面が得られる為、広域マッピングに効果的です。
- 良好なスペクトルの取得の為に赤外吸収が飽和しない薄い切片の作製が必要となります。HW-1スライサーならば実体顕微鏡下で厚みを調節しながら切片が作製できます。
- iTP-8を使用することでφ8ClearDiskのKBrプレート法も行うことができます。(iTP-8以外のハンドプレスでは作成できません)